

＜講師＞ 青 木 雅 矢 さん 【 伊勢ヶ浜保育園 】
 柏 田 佳代子 さん 【 日知屋児童センター 】
 難 波 裕扶子 さん 【 南日本ハム株式会社 】

【大単元】日知屋小学校 4 年（40 名）「どんな大人になりたいですか？」

1 学習のねらい

- WYSH 教育の手法を用いた授業やよのなか教室を活用した授業の実施を通して、将来は誰もが大人になり、生活していくため、自己実現するために働くことが大切であることを実感させ、夢をもち、今を大切に生きようとする態度を身に付けることができるようにする。
- いろいろな大人や働くこと（仕事）についての取材を通して、2 分の 1 成人式で一人一人が発表する将来の大人像について発表できるようにする。

2 学習の様子

【学級活動】「大人になるって（二次性徴と、育ちゆく体とわたし）」

※ WYSH 教育の手法を用いた授業

（1）ねらい

成長にともなった体の様々な変化について考え、体の変化や起こる時期には個人差があることを理解し、「大人になるって」どんなことか自分の考えをもつことができるようにする。

（2）実施時期

平成 29 年 1 月 20 日（金）5 校時（14：05～14：50）

（3）学習の流れ

段 階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	備 考
導 入	1 クイズをする。 ・「大人かな？子どもかな？」 ・「高校生は大人か？」 ・「ライオンの親子」 2 本時のめあてを確認する。 わたしたちの体の変化についてもっとよく知り、「大人になるって」どんなことか考えよう。	○ クイズを通して、大人と子どもの違いについて考えることで、本時のめあてにつなげる。	（学級担任） プレゼンテーション DVD
展 開	3 体の変化について説明を聞く。 ・体の大きさの変化 ・体の内部の変化（二次性徴） ・射精と月経	○ 説明が理解できるように、体の見た目の変化と見えない変化について、視覚的なプレゼンテーションを活用する。 ○ 体の変化には個人差があり、いつごろから起こるのかはそれぞれに違うことを押さえる。	（養護教諭） プレゼンテーション
終 末	4 学習のまとめをする。	○ 体の変化や大人になることについての感想を書くように指示する。	（学級担任）

【総合的な学習の時間】「いろいろな大人の人から話を聞こう」 ※ よのなか教室

(1) ねらい

いくつかの職種の大人の方との交流を通し、自分の将来に向けての思いを描き、夢や希望をもって、自分なりに、自信をもち、今後取り組んで行こうとする気持ちをもつことができるようにする。

(2) 実施時期

平成29年2月9日(木) 2～3校時(9:25～11:05)

(3) 学習の流れ

段 階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	備 考
導 入	1 全体で「始めの会」をする。 ・講師紹介 ・児童代表あいさつ よのなか先生の話进行こう。 	◇ 事前の打ち合わせで、「仕事の内容(分かりやすく)」「この仕事に就くきっかけ」「子どもの頃の夢」「どんな子どもだったか」「子どもたちに伝えたいこと」等、「人の生き方」を基盤にお話しいただくように依頼した。 ○ 前回の学習との関連を図るとともに、講師のよのなか先生を紹介し、話を聞こうとする意欲を高めるとともに、学習のねらいを確認する。	<4の1教室> (学級担任) 【講師】 青木雅矢さん 柏田佳代子さん 難波裕扶子さん
展 開	2 各グループに分かれ、よのなか先生のお話を聞く。 <多目的室> 【青木雅矢さん】  3 よのなか先生に質問する。 4 よのなか先生のお話を聞いての感想を書く。	○ よのなか先生が話しやすいように、また、児童が聞きやすいように、各教室(4の1教室、多目的室、少人数室)の準備は、事前にセッティングしておく。 <4の1教室> 【難波裕扶子さん】  <少人数室> 【柏田佳代子さん】 	<各教室> 【講師】 青木雅矢さん 柏田佳代子さん 難波裕扶子さん ワークシート 探検バッグ

	5 書いた感想を一人ずつ発表し、よのなか先生の感想を聞く。	する。 ○ 児童の感想を聞き感じたことをもとに、特に伝えたいことをお話ししていただくようよのなか先生に伝える。	
	<多目的室> 	<4の1室> 	<少人数室> 
	6 全体で集まり、各グループで聞いた感想を発表し合う。  7 よのなか先生の感想を聞く。 ・青木雅矢さん ・柏田佳代子さん ・難波裕扶子さん	○ 全体で発表する児童を、各グループ2名選出しておき、グループ毎に発表するように指示する。  ○ 一人約5分で感想を述べてもらうように事前に伝えておく。 	<4の1教室> (学級担任)
	8 全体で「終わりの会」をする。 ・児童代表あいさつ 9 学習のふり返しをする。 ○ ワークシートにまとめる。		

(4) 児童の感想

＜青木先生の話聞いた児童＞

- 私の将来の夢は、保育園の先生です。今日、青木先生に学んだ事「出来ないことをやらなければ何事も出来ないけど、出来ないことをチャレンジすればいつかはやれる。」と聞いて、それを生かして将来の夢が叶えられるようにがんばろうと思いました。

＜難波先生の話聞いた児童＞

- 今、好きなことを仕事に出来なくても続けられる人になりたいと思いました。先生の話聞いて、「何でもあきらめない。」と「出来ない理由より出来る方法をいつでも考える。」ができる大人になりたいと思いました。

＜柏田先生の話聞いた児童＞

- 柏田先生の「貯金をしてください。」と言った事が心に残りました。理由は、貯金はお金じゃないということです。貯金は、体験や失敗・出会い・悩み・努力を貯金して下さいということでした。仕事は、人の役に立つこと、喜びを感じることを、学び成長できること、知らない自分を発見できることだと教えてもらいました。

(5) 指導者の気付きや学び

3名のよのなか先生方は、打ち合わせの時から情熱を持って取り組まれていた。打ち合わせ後も、電話で場の設定の確認や話す内容の整合性の確認など、入念な事前準備で臨んでいただいた。

それぞれの会場に本校の教諭・講師と一緒にしてもらい、子ども達への支援を考えていたが、予想以上に子ども達は先生方の話に熱心に耳を傾け、大事なことを心に刻むことができた。メモ用紙にも表だけでなく裏にも書いている児童もいた。このことにより、「よのなか教室」の取組は、身近にいる大人で、先生方の幅広い知識と経験から語られたということもあり、担任が語るより子ども達の心に確実に残すことができた。

また、3つの会場に分けたことで児童数も1グループ13名になり、少人数グループ化したことで、ほとんどの児童が興味関心を持続させながら集中して話を聞くことが出来た。

【学級活動】「大人になるって（二次性徴と、育ちゆく体とわたし）」

※ WYSH 教育の手法を用いた授業

（１）ねらい

成長にともなった体の様々な変化について考え、体の変化や起こる時期には個人差があることを理解し、「大人になるって」どんなことか自分の考えをもつことができるようにする。

（２）実施時期

平成 29 年 2 月 16 日（木）4 校時（11：15～12：00）

（３）学習の流れ

段 階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	備 考
導 入	1 前時までの学習をふり返り、本時のめあてを確認する。	○ 前時までの「大人になるって（二次性徴）」「いろいろな大人の人から話を聞こう（よのなか教室）」を想起できるよう使用した資料を提示する。	（学級担任） プレゼンテーション
	大人になるために、今わたしたち何をすればよいか考えよう。		
	2 思春期の発達を知り、将来の発育発達の見通しをもつ。	○ 個人差や思春期の急激な成長の特徴に気付けるように、中学 3 年生の身長伸びを例示するとともに、これからは、賢さや判断力など生活をしていくために必要な力をつけていく時期であることを想起できるようにする。	（養護教諭）
展 開	3 受験期にある中学生（先輩）からのメッセージを聞く。	○ 近い将来と現在の自分を考えられるように、受験生としての思いや反省していることについて話を聞くように伝える。	（養護教諭） プレゼンテーション 音声メッセージ （学級担任）
	4 取材したことについて話し合う。 「そんけいする（あこがれの）大人をさがそう」 ・一人ずつ紹介する。 ・全体で話し合う。 ・自分が今頑張ることを考える。 5 今自分が頑張ることを発表する。	○ 今できること、頑張るべきことを見つけ、目標が立てられるように、様々な大人の仕事や大人の魅力について友達の取材した内容に触れ、自分はどんな大人になりたいか考えるように助言する。 ○ 自己決定し、意欲の持続化を図ることができるように、「今自分ががんばること」を発表するように指示する。	
終 末	6 学習のまとめをする。	○ 学習を振り返り、大人になることの意味について考えられるように、メッセージビデオを提示する。	（学級担任） 動画メッセージ
	7 教師のメッセージを聞く。	○ 教師の思い（メッセージ）を伝える。	



【総合的な学習の時間】「どんな大人になりたいですか？」 2 分の 1 成人式